会社概要

商　　号	日新インダストリー株式会社
法人番号	1011101015810
本社所在地	〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-15-11 イーストンビル西早稲田2F お客様相談窓口：0120-971-834 受付時間〈平日〉9:00～17:00 TEL：03-3209-2181（代表）　FAX：03-3232-6953 Web：www.nissin-industry.jp
設　　立	昭和57年10月8日
資 本 金	1,000万円
代表取締役	川西　紀哉
取引銀行	りそな銀行（新宿支店）、みずほ銀行（高田馬場支店）、三菱UFJ銀行（高田馬場支店）
事業内容	高濃度亜鉛末塗料（ジンクリッチペイント）をはじめとする、溶融亜鉛めっき補修剤および塗料の製造販売
主要取引先	全国塗料販売店、全国機械工具販売店、溶融亜鉛めっき業者、仮設足場関連業者、管工機材関連業者、公共インフラ事業、NEXCOグループ、首都高速株式会社、阪神高速株式会社、電力会社、ゼネコン関係、ホームセンター関係など

沿　　革

1982年	10月	日新インダストリー株式会社設立
2005年	11月	代表取締役社長に川西紀哉就任
2006年	10月	海外への出荷開始
2011年	7月	日本溶融亜鉛鍍金協会賛助会員入会
2012年	6月	本社事務所を東京都新宿区西早稲田に移転
2012年	11月	国土交通省新技術情報提供システムNETISに変性エポスプレーNEXTを登録 登録番号：KT-120090-A ※現在は掲載を終了しています。
2013年	2月	開発研究所開設
2015年	5月	MAZAX（マザックス）特許取得　第5791684号
2017年	12月	国土交通省新技術情報提供システムNETISにMAZAX®を登録 登録番号：KT-170072-A
2018年	10月	大阪営業所開設
2019年	1月	商事部を設立
2022年	4月	経済産業省「DX認定事業者」の認定を取得
2022年	6月	国土交通省新技術情報システムNETISにアクアシールド®を登録 登録番号：KT-220041-A
2024年	6月	国土交通省新技術情報提供システムNETISにMAZAX®NEOを追加登録 登録番号：KT-170072-A

2024.6

NISSIN INDUSTRY
日新インダストリー株式会社
CORPORATE GUIDE

亜鉛めっきと供に

人々の暮らしと産業に欠かせない金属である鉄は私たちの生活に密接に関わっています。鉄は硬くて強く、自在に加工できるなどの優れた特性を持ちますが、自然環境のまま放置するとさびるという性質があります。その鉄をさびから守る技術のひとつが溶融亜鉛めっきです。

溶融亜鉛めっき鋼材は、電力通信設備・発電所・鉄道・鉄鋼製品・道路・公共施設・駐車場などのあらゆる分野で多岐に使用され、インフラ整備に欠かせない存在です。

当社は溶融亜鉛めっき補修剤専門メーカーとして、溶融亜鉛めっきと供にその技術を未来へ羽ばたかせることこそが使命と考えています。

常識にとらわれない発想と技術でお客様

の期待を超える新しい価値を創造し、

未来に羽ばたく溶融亜鉛めっき補修剤の

リーディングカンパニーへ

経営理念

お客様目線を最優先とした技術･製品･サービスで、社会の発展に貢献する。

基本方針

1.高い専門知識と発想で、お客様に喜ばれ、信頼される製品を提供する。

2.時代に沿った魅力あふれる製品の開発に努め、新市場を開拓し続ける。

3.長期安定的な成長を実現し、補修剤専門メーカーとしての地位を確立する。

溶融亜鉛めっきは、鉄をさびから守る工法で、優れた強度･耐食性･経済性を併せ持つ「構造物の長寿命化」を実現するには欠かせない重要な技術です。当社は溶融亜鉛めっき補修剤の専門メーカーとして、常にお客様のニーズに応えられる製品開発を探究してまいりました。

塗料業界･補修現場において、環境が日々変化していく中であっても「お客様目線で見ること」、「お客様に喜ばれ感謝されること」、「お客様に繰り返しご利用いただくこと」を念頭に、お客様の期待を超える製品やサービスを提供してまいります。

これまでに得た豊富な知識や経験、お客様からの信頼を糧に、新分野･新領域の開拓にも挑戦し続け、社会の発展に貢献したいと考えております。

代表取締役 川西紀哉

必要不可欠を目指して

お客様の状況や理想を尊重した、一歩先んじたサービスが当社の強みであり、特長です。補修剤専門メーカーとして積み重ねてきた知識や経験は溶融亜鉛めっき補修分野において質の高いものづくりに貢献しております。

溶融亜鉛めっき補修の相談窓口として常に頼られる存在であり続け、必要とあれば各地の現場に駆けつけ、問題や課題を解決いたします。

お客様との信頼と絆を深め、必要不可欠な存在を目指してまいります。

01

営業・商事
Sales & Commercial

徹底的に応える補修のプロフェッショナルへ

お客様のご要望に最大限お応えするため、私達はヒアリングを重視しています。ヒアリングした内容を基に私達の経験と知識をプラスし、多面的なご提案をおこなうよう心掛けております。さびでお困りの事や補修方法等についてワンストップでお任せいただき、塗装後のアフターケアまでサポートします。
お客様の声に徹底的に応え、信頼関係を構築し、末長くお付き合いいただけるよう、補修のプロフェッショナルを目指します。

02

海外展開
Global

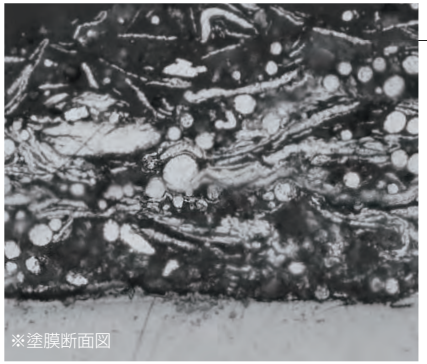
国境を越えて幅広く支持されています

当社は1982年の会社設立以来、溶融亜鉛めっき業者をはじめ、機械工具・電子部品・橋梁・道路・鉄道などのあらゆる分野において製品をご使用いただいております。また、近年はベトナム・フィリピンをはじめとする東南アジア等の海外においても需要が増え続けております。今後も幅広い分野で新しい価値を創造し、世界の製造業をサポートしてまいります。

要望を形にする

お客様の要望を形にすることが当社の役割であると考え、被塗物の価値を高めることを追求しながら、日々情熱をもって研究開発に取り組んでおります。

現在までの業界の常識を覆すべく、常に新しい情報に触れ、これまでに培ってきた技術力とかけ合わせることで唯一無二の製品を世に送り出しています。今後は更に人材育成や技術継承にも注力し、変化していく社会に柔軟に対応できる組織作りを進めてまいります。

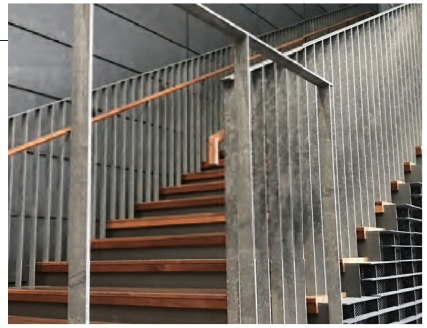


時代を見据えた技術

当社は創業以来、溶融亜鉛めっき補修分野における最先端の技術を追い求めてまいりました。近年、構造物のさらなる長寿命化を図るために「溶融亜鉛アルミニウム合金めっき」の普及が進んでいます。この高耐食性めっきに対応した補修剤として「MAZAX®」を上市しました。また、労働安全衛生法に基づく規則に指定される化学物質は年々増加しています。そのような法改正に対応し、水系長期防錆塗料「アクアシールドスプレー®」や「ジンクプラスネオシリーズ」などの環境対応型塗料の開発・改良を行っております。このように他社メーカーもなし得なかった製品づくりを可能にしたのは当社の技術力の結晶だと自負しております。

現場に寄り添う設計

当社は、ニッチな市場で多様化するお客様のニーズにも積極的に応えてまいりました。その中で約30年間、誰も手を付けなかった溶融亜鉛めっき用不めっき剤分野に目を向け、作業効率向上・安全性を兼ね備えた「めっきガード」を設計、開発しました。意匠性を目的とした「ジンクブラック」は鋼材の濃淡に合わせて色調をN3～N6から選択可能です。また100gの少量サイズ「mini缶」は持ち運びが制限される高所現場等でご活用いただいております。現場のどんな小さなお悩みにも寄り添い、解決に導きます。



確かな品質と性能

「スーパージンク」をはじめ、当社主力製品の亜鉛末塗料にはエポキシ樹脂を採用しています。エポキシ樹脂は優れた密着性を有しているため高い防錆効果を発揮し、アクリル系・ウレタン系・フッ素系など幅広いタイプの塗料を上塗りすることも可能です。さらに、スプレー缶にもこだわり、液だれしづらい缶構造やスプレーボタンを選定し、「変性エポスプレーNEXT」については、作業効率のよい2液混合缶を採用しています。このような品質や性能は高い評価をいただいております。

03 技術開発 Technology

すべてお客様の声からはじまります

当社は実際の現場の仕上がり・作業性やコストを重視し、お客様第一で製品開発に取り組んでおります。

これまでもお客様の「このような製品が欲しい！」という声から「他社にはない製品」を実現してまいりました。これからも型にはまらない柔軟な発想で新製品の開発に着手し、付加価値の高い製品をご提供いたします。

開発の歴史

04

生産管理
Production management

多様な製品の生産体制を整えています

当社はファブレスメーカーです。企画開発や試作品製作を自社で行い、製品ごとに最適な技術や生産ラインを持つ外部工場に製造を委託しております。そのため、自社では開発・設計・デザイン・販売に集中することができ、多種多様な製品を世に送り出すことができる体制を整えています。

05

品質管理
Quality control

国内生産で高い品質をご提供します

当社製品は一貫して日本国内で生産しており、高品質・安全性・安定供給を実現しております。原料・資材の調達においては、実績評価に基づいた信頼性の高い供給業者を選定しております。併せて新規原料の調査を継続して行い、高品質を保つための情報収集を怠りません。また、製造を委託している外部工場には弊社独自の品質管理規定を設けており、管理体制についても定期的に監査し、品質水準の確保に努めています。